

令和4年度Uターン・Iターン者の状況について

1. 概要

Uターン・Iターン者は、「県外から島根県に転入し、転入市町村に5年以上居住する意思のある者」と定義し、平成27年度から独自に調査を実施

(1) R4年度Uターン・Iターン者数（詳細は別紙参照）

① 日本人・外国人計

単位：人

	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	2,010	1,403	50	3,463
R3	2,001	1,316	45	3,362
対前年度	9	87	5	101
対前年度比	100%	107%	111%	103%

- 令和4年度は、総数では3,463人で対前年度101人の増となった。
- Uターン者数は、2,010人で対前年度9人の増、
Iターン者数は、1,403人で対前年度87人の増となった。

② 日本人のみ

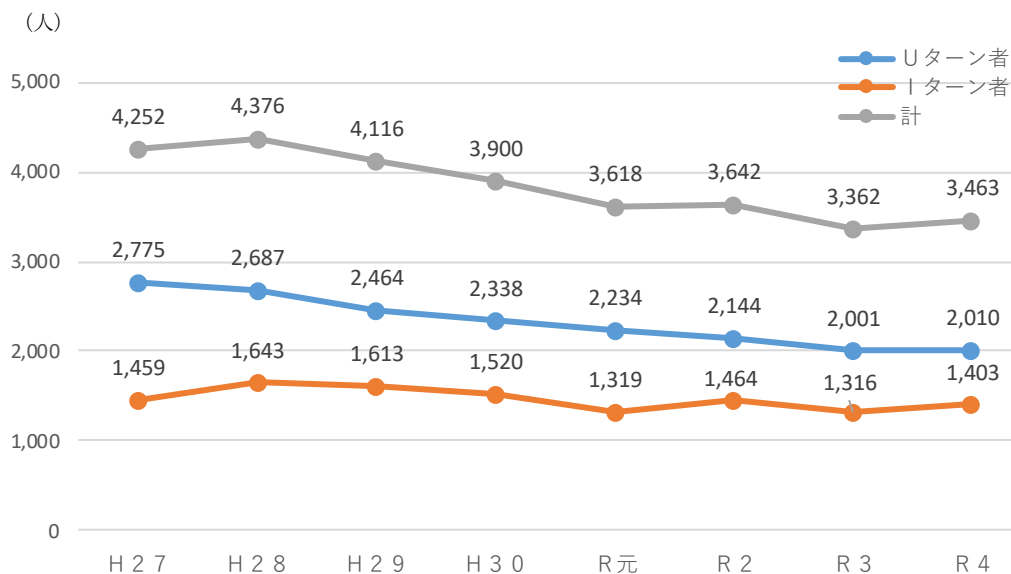
単位：人

	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	1,946	1,220	43	3,209
R3	1,960	1,170	40	3,170
対前年度	▲ 14	50	3	39
対前年度比	99%	104%	108%	101%

- 令和4年度は、総数では3,209人で対前年度39人の増となった。
- Uターン者数は、1,946人で対前年度14人の減、
Iターン者数は、1,220人で対前年度50人の増となった。

(外国人の状況は5. に記載)

(2) 年度別Uターン・Iターン者数の推移（H27年度～R4年度）



- Uターン者数は全体の約6割、Iターン者数は約4割という構成に大きな変化はない。
- Uターン者はH27年度の調査開始以降で初めての対前年増（+9人）で、Iターン者数は概ね横ばいの状況。

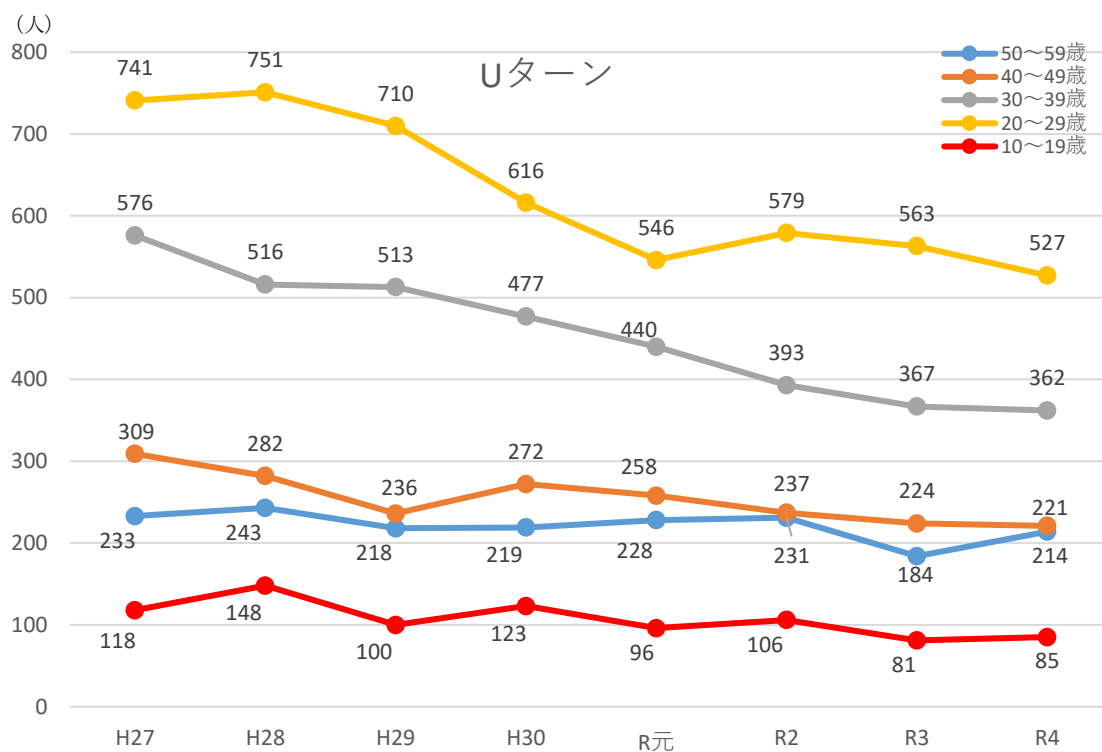
2. 年代別Uターン・Iターン者の状況

(1) R4年度とR3年度の比較

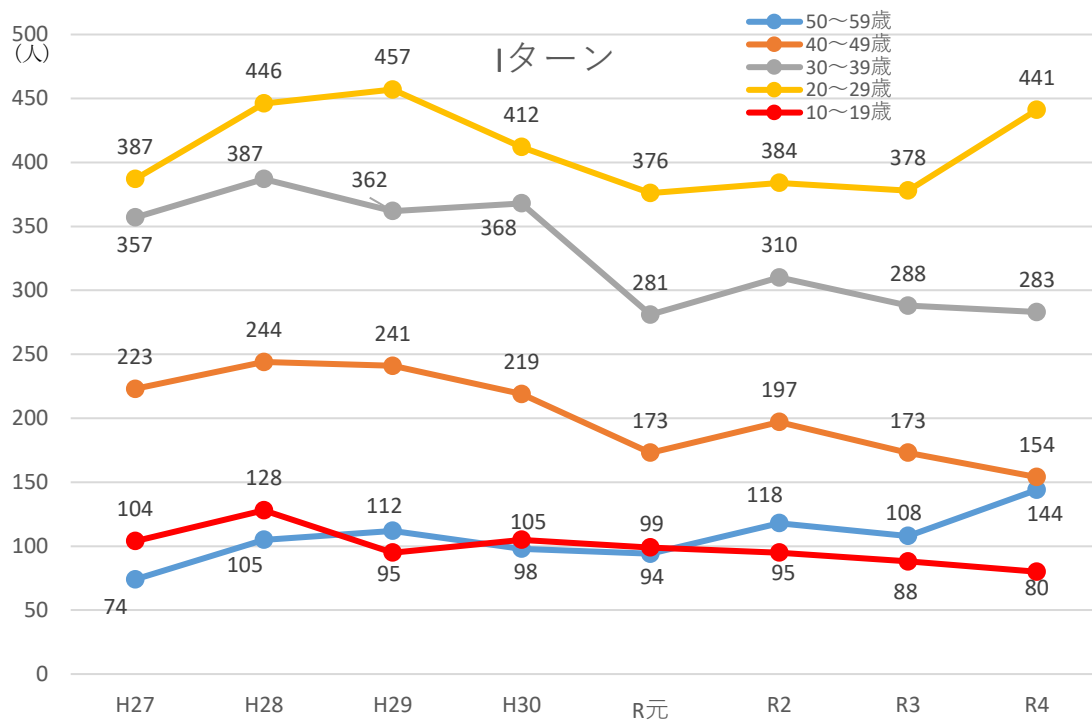
	Uターン者				Iターン者				計			
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比
70歳以上	143	130	13	110%	99	87	12	114%	248	219	29	113%
60～69歳	232	232	0	100%	71	85	▲ 14	84%	303	320	▲ 17	95%
50～59歳	214	184	30	116%	144	108	36	133%	361	298	63	121%
40～49歳	221	224	▲ 3	99%	154	173	▲ 19	89%	382	400	▲ 18	96%
30～39歳	362	367	▲ 5	99%	283	288	▲ 5	98%	655	664	▲ 9	99%
20～29歳	527	563	▲ 36	94%	441	378	63	117%	976	954	22	102%
10～19歳	85	81	4	105%	80	88	▲ 8	91%	172	173	▲ 1	99%
10歳未満	226	220	6	103%	131	109	22	120%	366	334	32	110%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%

- 20歳～30歳代が全体の約半数（R3：48.1%、R4：47.1%）を占める構造に変化はない。
- 50歳代のUターン・Iターン者数が63人増加し、増加数全体の6割強を占めた。
- 20歳代のUターン者数が36人減少した一方で、Iターン者数は63人増加した。

(2) 年代別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R4年度)

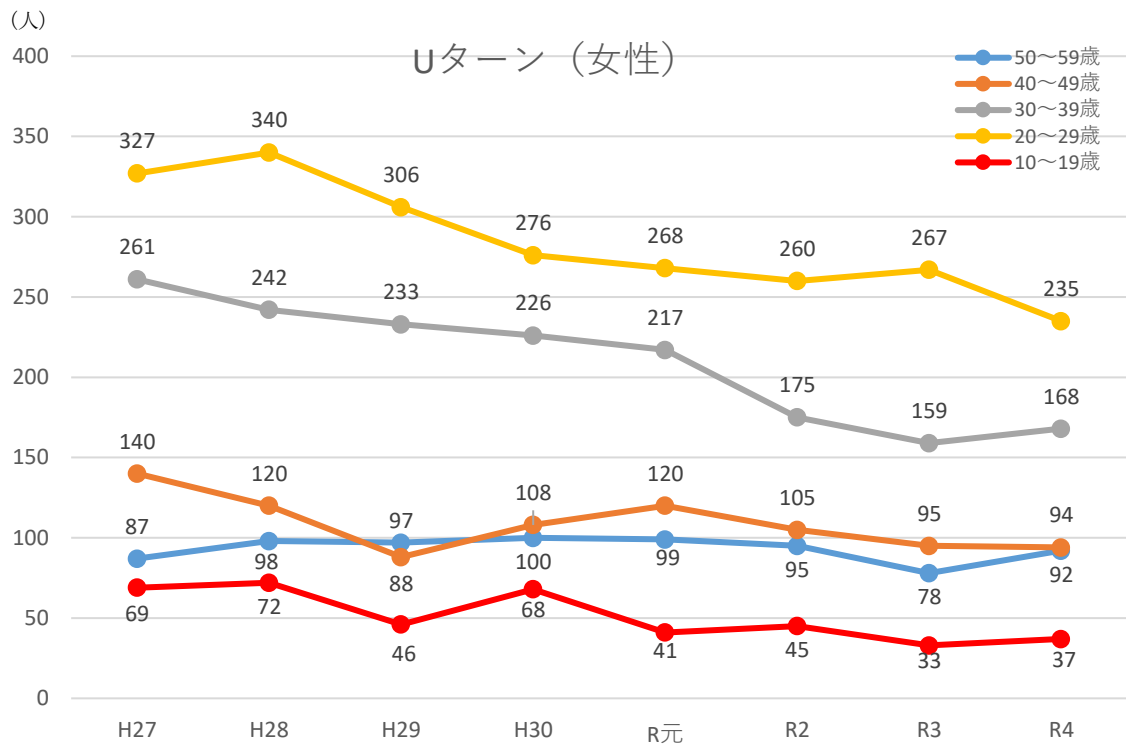
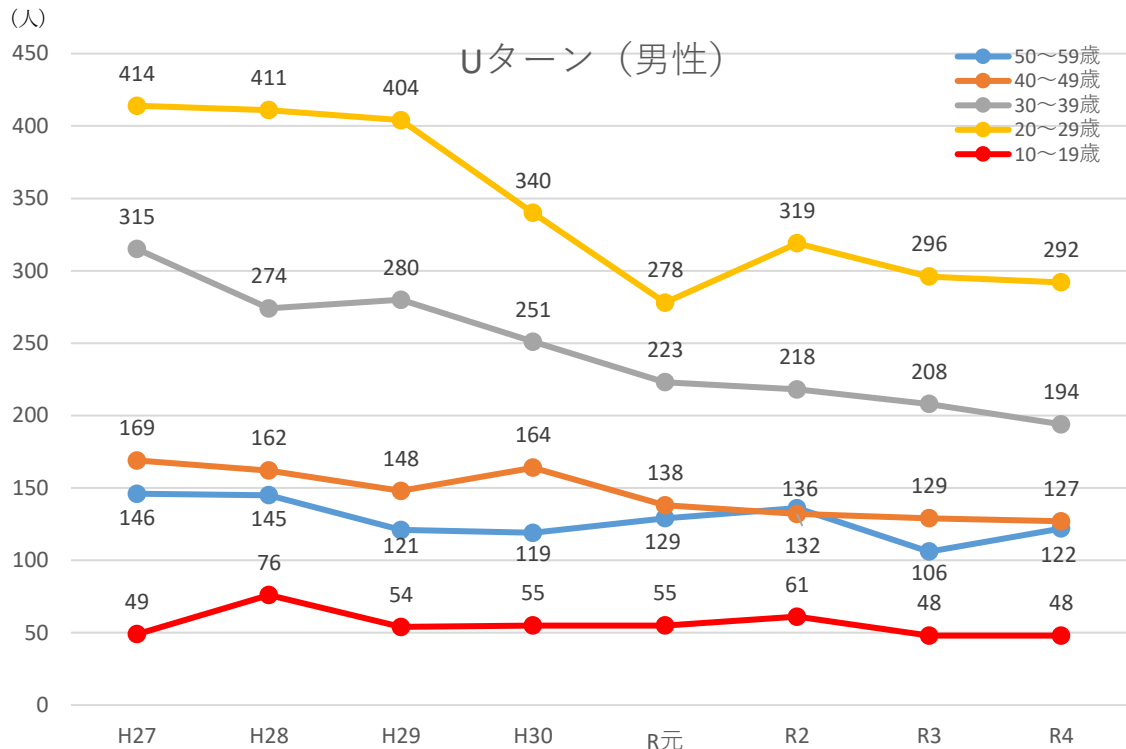


○ H27年度からの8年間で、Uターン者数はいずれの年代でも減少傾向にあり、特に20代(▲29%)、30代(▲37%)の減少幅が大きい。

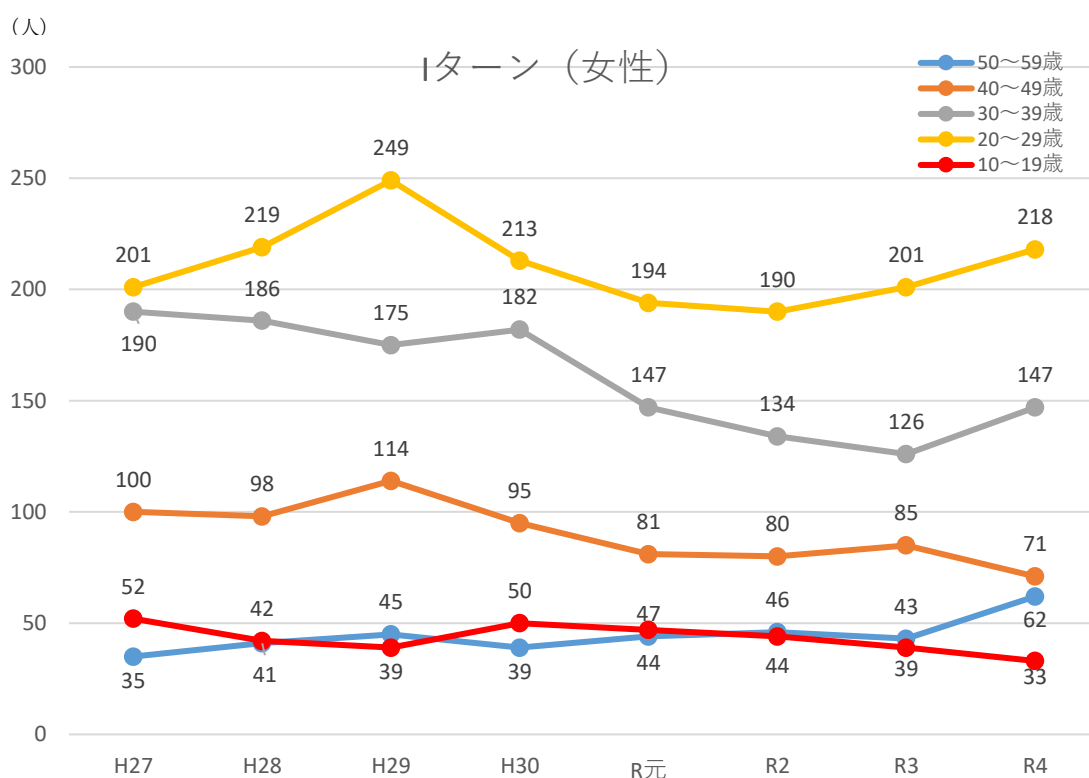
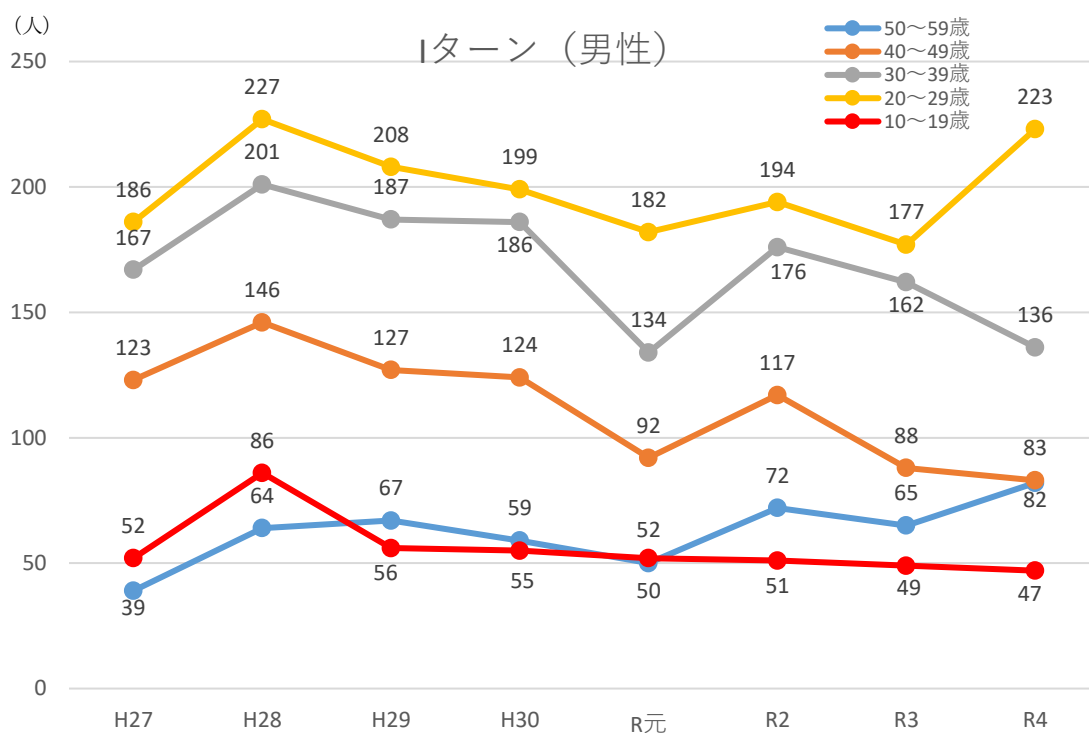


○ H27年度からの8年間で、Iターン者数もほとんどの年代が減少傾向であるが、50代(+95%)は増加傾向にある。また、20代のIターン者数は、H29年度以降減少傾向であったが、R4年度で441人(+14%)と増加に転じている。

(3) 年代別×性別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R4年度)



- 男女ともにH27年度からの8年間で、20代の減少率は約30%、30代は約40%と大きな違いはないが、50代男性は▲16%に対し、50代女性は+6%となっている。
- H27年度と比較して、減少数が最も多いのは20代男性 (▲122人) で、減少率が最も高いのは10代女性 (▲46%) となっている。



- 男女ともにH27年度からの8年間で、20代及び50代は増加、30代及び40代は減少という傾向に大きな違いはない。
- H27年度と比較して、減少数が最も多いのは30代女性(▲43人)で、減少率が最も高いのは10代女性(▲37%)となっている。また、増加数・増加率は50代男性がともに最も高い。(＋43人、＋110%)

3. 地域別Uターン・Iターン者数

(1) R4年度とR3年度の比較

単位：人

	Uターン者				Iターン者				計			
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比
北海道	13	12	1	108%	18	10	8	180%	31	22	9	141%
東北	21	19	2	111%	18	23	▲ 5	78%	41	42	▲ 1	98%
北関東	22	16	6	138%	17	27	▲ 10	63%	39	43	▲ 4	91%
南関東	367	408	▲ 41	90%	222	218	4	102%	595	628	▲ 33	95%
北陸・東山	29	43	▲ 14	67%	35	52	▲ 17	67%	65	95	▲ 30	68%
東海	90	90	0	100%	66	80	▲ 14	83%	156	171	▲ 15	91%
東近畿	26	37	▲ 11	70%	26	38	▲ 12	68%	58	76	▲ 18	76%
西近畿	376	386	▲ 10	97%	237	219	18	108%	618	615	3	100%
中国	841	774	67	109%	499	477	22	105%	1,358	1,277	81	106%
四国	43	54	▲ 11	80%	46	39	7	118%	89	94	▲ 5	95%
九州・沖縄	107	91	16	118%	102	97	5	105%	213	189	24	113%
国外	75	71	4	106%	117	36	81	325%	200	110	90	182%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%

注) Uターン者、Iターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

地域区分：北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸・東山：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

東近畿：滋賀県、奈良県、和歌山県

西近畿：京都府、大阪府、兵庫県

中国：鳥取県、(※島根県は除く)、岡山県、広島県、山口県

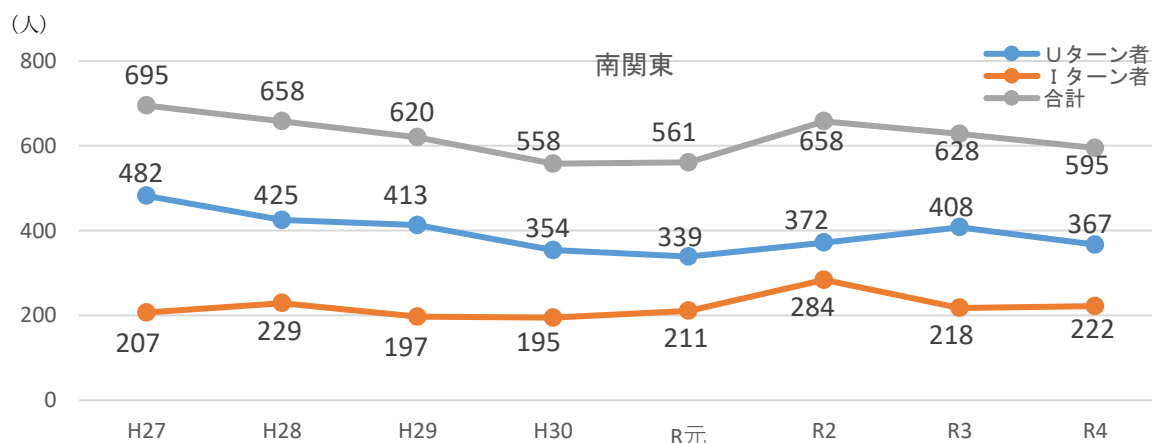
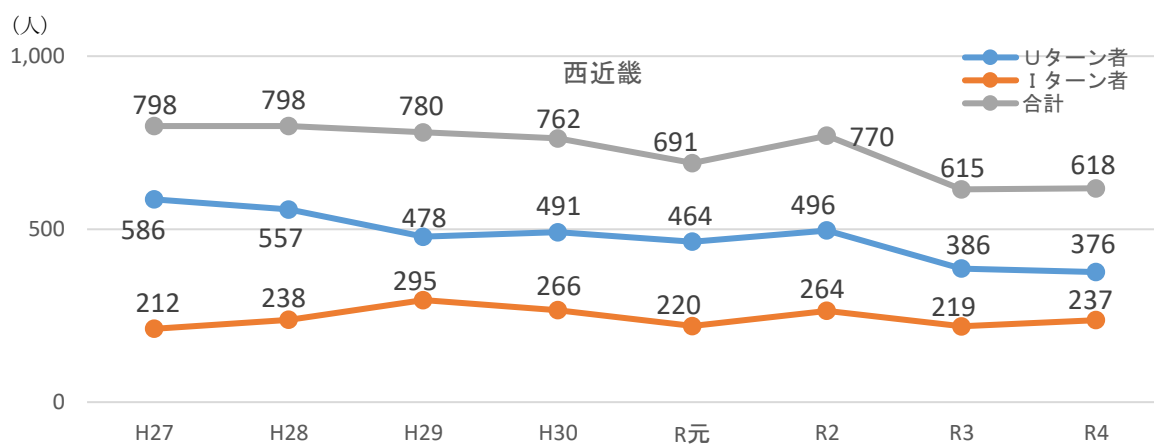
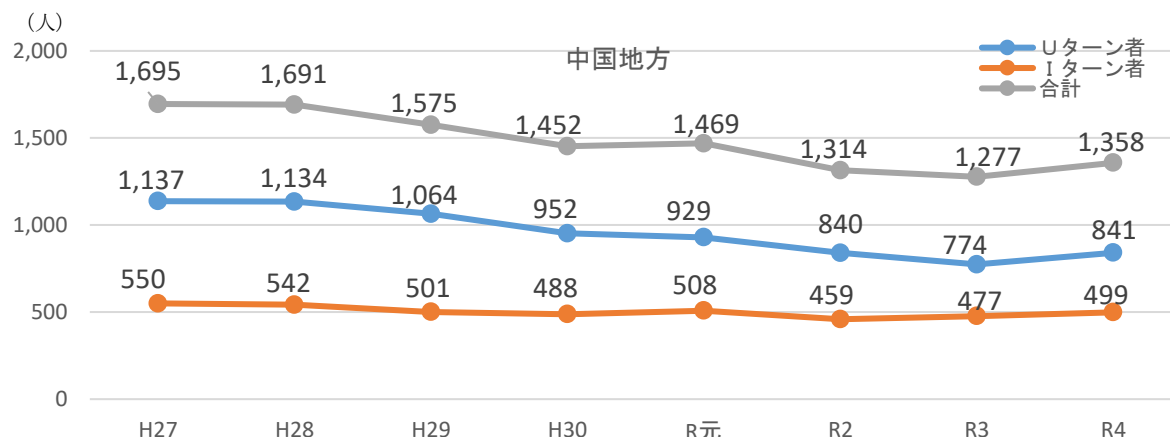
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※下線は各地域内でUターン・Iターン者数が最も多かった都道府県

- Uターン・Iターン者数全体は、中国、西近畿、南関東の3地域で3/4を占めている。
- R4年度の増加数+101人は、国外(+90人)、中国地方(+81人)等の増を、南関東(▲33人)、北陸・東山(▲30人)等の減により減らしたものの。
- R4年度のUターン者数は、中国(+67人)の増と、南関東(▲41人)の減が目立った。

(2) 地域別Uターン・Iターン者数の推移（上位3地域）（H27年度～R4年度）



- 中国地方のUターン・Iターン者数は減少傾向が続いていたが、R4年度は前年度比+81人と増加した。
- 南関東のUターン者数はH27年度以降で▲115人（▲24%）で、R2、R3年度で増加していたが、R4年度は前年度比▲41人と減少した。
- Iターン者数はH27年度以降で、西近畿が+25人（+12%）、南関東が+15人（+7%）とほぼ横ばいの状況。

4. 市町村別Uターン・Iターン者数

(1) R4年度とR3年度の比較

単位：人

	Uターン者				Iターン者				計				Uターン・Iターン者数 /推計人口 (R5.4.1時点)
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	
松江市	715	698	17	102%	472	373	99	127%	1,187	1,072	115	111%	0.60%
浜田市	135	109	26	124%	52	74	▲22	70%	192	183	9	105%	0.37%
出雲市	542	529	13	102%	413	466	▲53	89%	982	1,025	▲43	96%	0.57%
益田市	116	107	9	108%	92	54	38	170%	217	165	52	132%	0.50%
大田市	59	68	▲9	87%	62	51	11	122%	121	119	2	102%	0.38%
安来市	96	116	▲20	83%	59	54	5	109%	156	172	▲16	91%	0.44%
江津市	65	65	0	100%	46	22	24	209%	115	87	28	132%	0.53%
雲南市	72	80	▲8	90%	26	50	▲24	52%	98	135	▲37	73%	0.29%
奥出雲町	29	30	▲1	97%	11	10	1	110%	40	41	▲1	98%	0.36%
飯南町	10	12	▲2	83%	20	9	11	222%	30	21	9	143%	0.69%
川本町	1	8	▲7	13%	3	7	▲4	43%	5	15	▲10	33%	0.16%
美郷町	13	11	2	118%	8	9	▲1	89%	21	20	1	105%	0.52%
邑南町	47	47	0	100%	25	18	7	139%	74	65	9	114%	0.77%
津和野町	27	34	▲7	79%	20	18	2	111%	47	53	▲6	89%	0.73%
吉賀町	10	17	▲7	59%	11	27	▲16	41%	21	45	▲24	47%	0.37%
海士町	14	7	7	200%	15	24	▲9	63%	29	31	▲2	94%	1.29%
西ノ島町	10	6	4	167%	23	6	17	383%	33	12	21	275%	1.26%
知夫村	2	2	0	100%	0	0	0	0%	2	2	0	100%	0.34%
隠岐の島町	47	55	▲8	85%	45	44	1	102%	93	99	▲6	94%	0.72%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%	0.53%

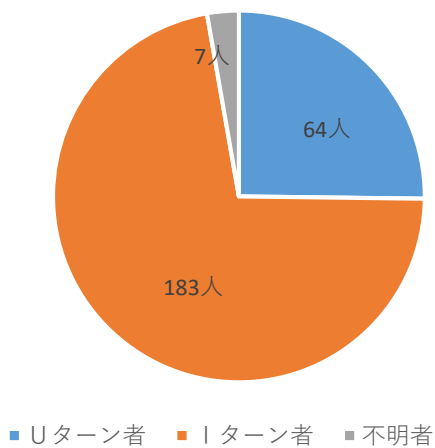
注) Uターン者、Iターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

- Uターン者は7市町で増加した。Uターン者数の増加が大きいのは、浜田市(+26人)、松江市(+17人)、出雲市(+13人)。一方で、9市町で減少し、減少が大きいのは、安来市(▲20人)だった。
- Iターン者は11市町で増加した。Iターン者数の増加が大きいのは、松江市(+99人)、益田市(+38人)、江津市(+24人)。一方で、7市町で減少し、減少が大きいのは、出雲市(▲53人)、雲南市(▲24人)、浜田市(▲22人)だった。
- Uターン者数の割合が高いのは13市町村で、雲南市(72/98=73%)、浜田市(135/192=70%)など。(知夫村はUターン者数2人に対し、Iターン者数なし。)
- Iターン者数の割合が高いのは6市町で、上位は西ノ島町(23/33=70%)、飯南町(20/30=67%)など。

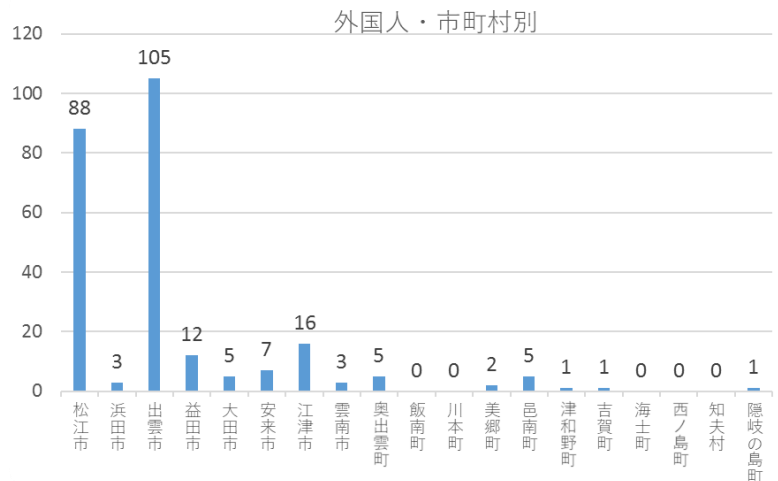
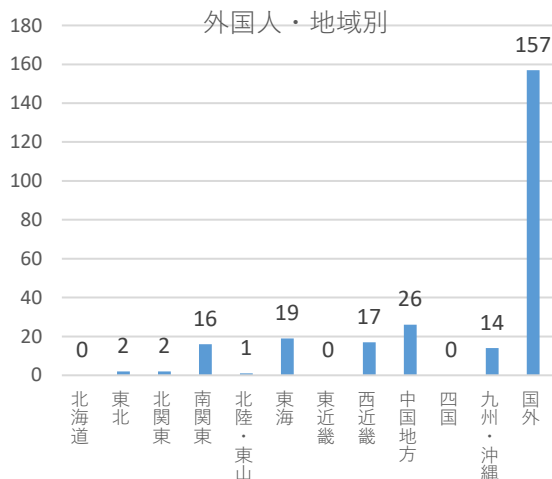
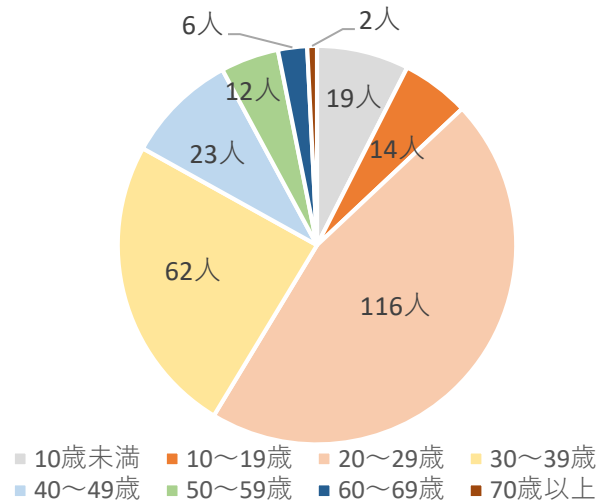
5. 外国人Uターン・Iターン者数

外国人				単位：人
	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	64	183	7	254
R3	41	146	5	192
対前年度	23	37	2	62
対前年度比	156%	125%	140%	132%

Uターン・Iターン者の内訳

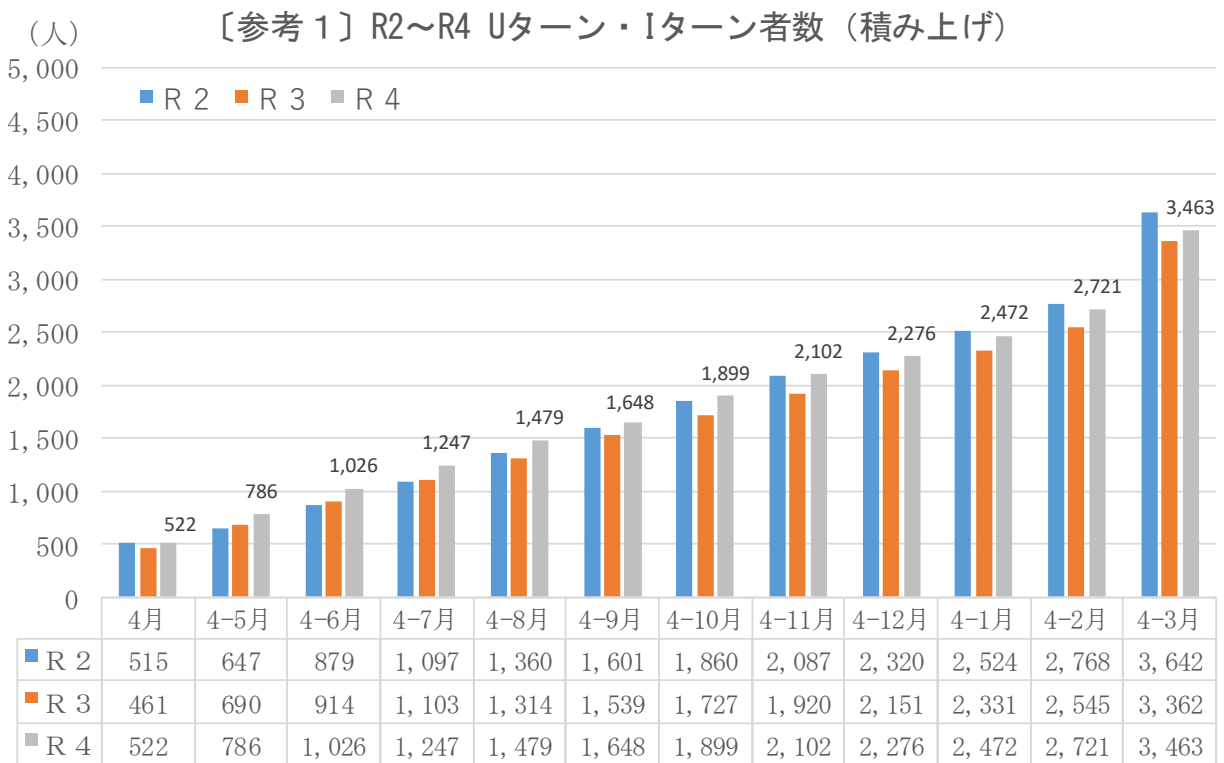
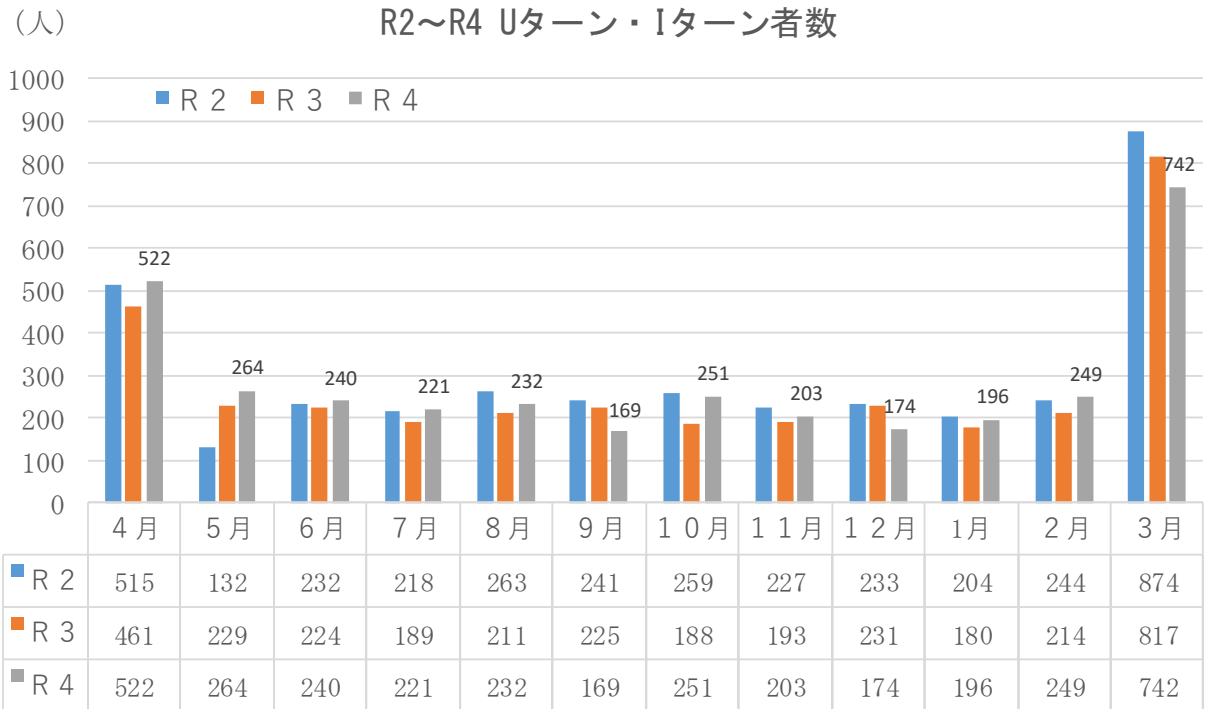


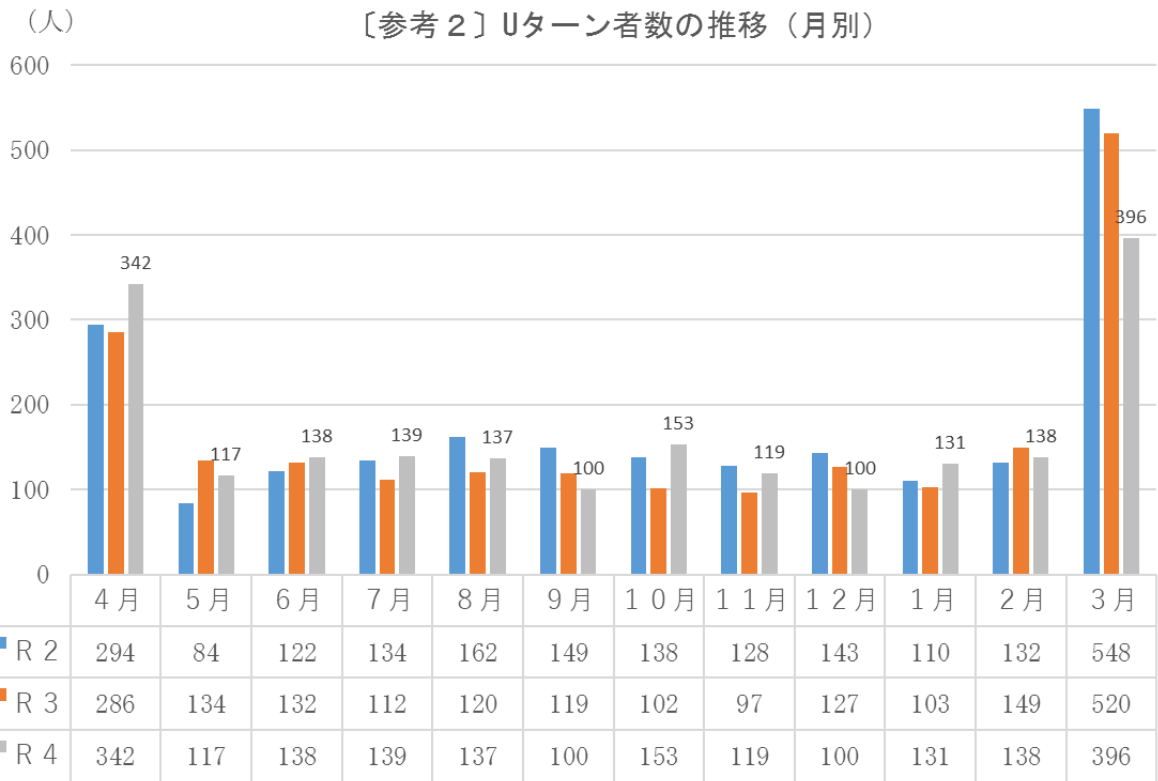
年代別Uターン・Iターン者



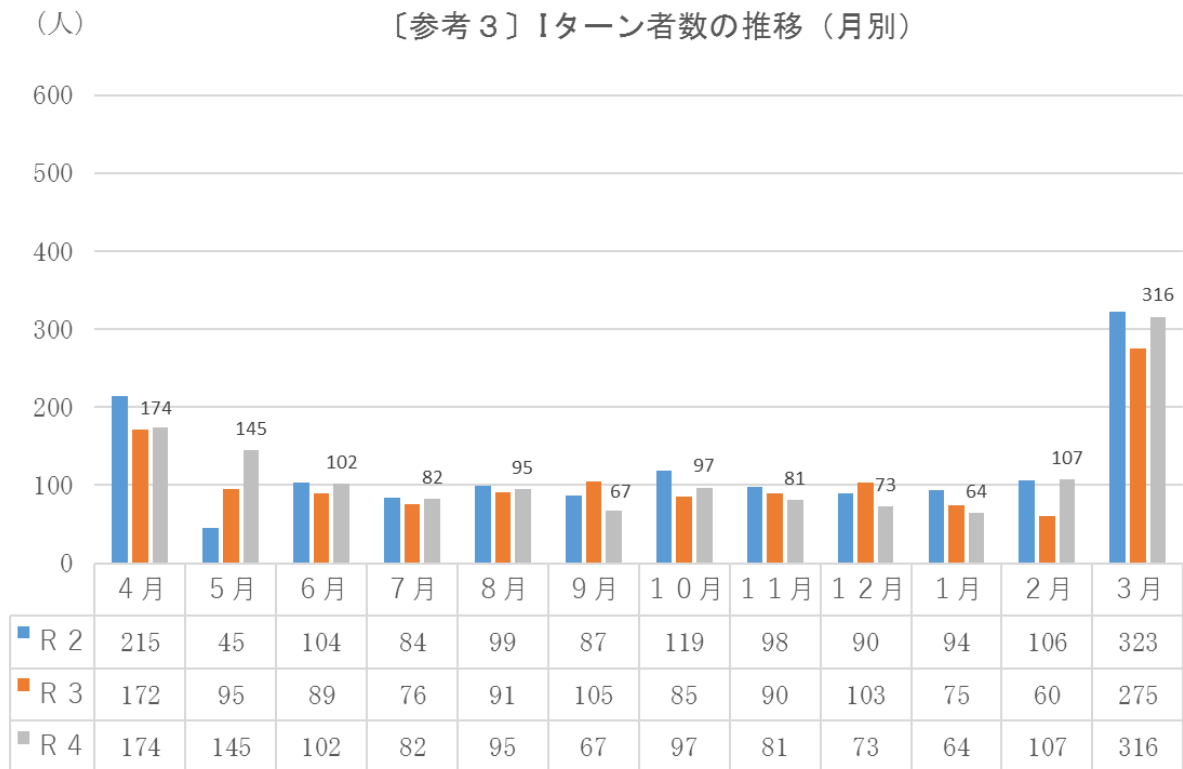
- 外国人のUターン・Iターン者数は254人で、Iターン者が72%を占める。
- 年代別では、20歳代が116人と最も多い。
- 地域別では、国外（157人）、中国地方（26人）が多い。
- 市町村別では、出雲市（105人）、松江市（88人）が多い。

6. Uターン・Iターン者数月別実績





4月～3月 R2：2,144人
R3：2,001人 (前年度比▲143人)
R4：2,010人 (前年度比+9人)



4月～3月 R2：1,464人
R3：1,316人 (前年度比▲148人)
R4：1,403人 (前年度比+ 87人)